

Cool Tokyo (東京を冷やす)

今年も猛暑が予想されています。本シンポジウムでは効果的でタダというより利益が生ずるヒートアイランド対策をご紹介します。

首都圏近くには海洋深層水(水深1,000mで水温約3.2℃)の良好な取水サイトがあります。取水・送水コストはスケールメリットが特に大きいことが知られており、事業性は取水条件に恵まれる島嶼国より、需要の集積した首都圏が有利になります。更に冷熱を利用したあとの温排水は、海洋深層水のカスケード利用では輸送コストは格安で、首都圏全域で新産業の創出に寄与します。

本シンポジウムでは、東京湾に集積した4,000万kWの火力発電所に冷却水を供給する事業性、海洋深層水カスケード利用の効果、およびヒートアイランドの緩和について検証します。

開催要項

日時：2018年6月9日(土) 13:15~16:45

場所：東京都港区赤坂1丁目2番2号 日本財団ビル 2階大会議室

アクセス：地下鉄銀座線 虎ノ門駅 徒歩5分

参加費：無料

プログラム：発表30分、質疑15分(※進行状況で多少前後する場合がございます。)

13:15 会場・受付

13:30 開会挨拶 茂木 創 (日本マクロエンジニアリング学会会長)

13:45 Cool Tokyo 概要と事業性 辻目 英正 ((株)デザインウォーター)

14:30 海洋深層水のカスケード利用 高橋 正征 (海洋深層水利用学会会長, 東大名誉教授)

15:15 東京湾の海表面温度分布の実態と海風による陸域気温の冷却効果の考察
小田 僚子 (千葉工業大学)

16:00 政策提言まとめ (日本マクロエンジニアリング学会, 海洋深層水利用学会)
茂木 創 (前掲) および参加者全員による討議、意見交換

16:30 閉会あいさつ 高橋 正征 (日本科学協会理事, 他前掲)

主催：日本マクロエンジニアリング学会 (JAMES), 共催：海洋深層水利用学会 (DOWAS)

後援：(公財)日本科学協会 (JSS), NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構 (RIMEP)

お問い合わせ：

日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒195-0054 東京都町田市三輪町 530-1 (株)デザインウォーター内

電話 044-701-0600 FAX 044-988-1876

Mail : info@jame-society.jp URL : <http://www.jame-society.jp/>

<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。